

## ◆ ガラス製品の組成分析 ◆

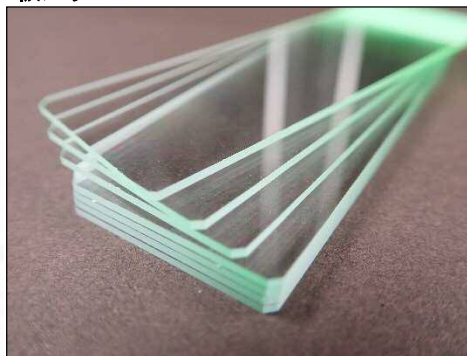
### 素材評価に精密分析は欠かせません！

§ 透明材料にプラスチックを使用するケースが増えましたが、透明性、高温耐久性、耐硬度が求められる部品では、今でもガラス製品が重用されています。

液晶画面



板ガラス



§ ガラス製品の機能や特性は構成元素の比率に大きく依存するため、使用目的に適合するよう厳密に配合されています。素材の品質を正しく評価するには精密な分析値が不可欠です。

ほうけい酸ガラスの分析結果例

単位:重量%

分析項目	測定値	分析方法
SiO <sub>2</sub>	57.7	重量法
Na <sub>2</sub> O*	11.3	酸分解-フレーム光度法
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> *	7.62	酸分解-ICP法
K <sub>2</sub> O*	1.25	酸分解-フレーム光度法
CaO*	4.62	酸分解-ICP法
MgO*	2.08	酸分解-ICP法
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> *	0.12	酸分解-ICP法
B <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	14.9	滴定法

※各元素の定量分析値を酸化物換算した値

お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>

材料評価事業部 〒101-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号  
TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP 分析無料ご相談



## サンプルを完全溶解！この技術が秘訣です。

§ 蛍光X線などの機器分析では、速く簡便に分析結果を得ることができますが、複合材などでは微量元素に誤差を生じる場合があります。弊社では、ソーダ石灰ガラス、ほうけい酸ガラス、クリスタルガラスはもとより、これら以外の特殊なガラスであっても成分組成をより精度の高い湿式化学成分分析によって主要成分から微量成分まで組成を正確に把握することが可能です。

強化 窓ガラス



耐熱ガラス器具



§ 弊社ではどのようなガラス製品であっても目的元素に応じて酸分解、アルカリ溶融などを駆使して適切に処理し、豊富な経験・実績・技術に基づいて信頼性の高いデータをご提供します。ガラス製品の組成分析はぜひACLにお任せください。

この分析に使用する装置の一例  
ICP-AES

フレイム光度計



お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>材料評価事業部 〒101-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号  
TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP 分析無料ご相談

